

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	遠隔医療従事者研修		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度		担当課室	研究開発振興課医療技術情報推進室		室長:渡辺 顕一郎	
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-2-2 医療従事者の資質の向上を図ること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成25年6月:世界最先端IT国家創造宣言 平成25年6月:規制改革実施計画			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	遠隔医療の実施を予定している医師等に対し、遠隔医療の機能や運用するためのポイントなどについての研修を実施し、知識と理解を深めることで普及・促進を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	遠隔医療を行うための機器の導入の検討をしている医師等の病院関係者や、実際に遠隔医療、遠隔診療を行っている医師等を対象に、遠隔医療の目的、機能や運用していくためのポイントなどについて、情報通信システムを活用した研修を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算				7	
		補正予算					
		繰越し等					
	計					7	
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	遠隔医療導入施設数(遠隔病理診断・遠隔画像診断・在宅患者に対する遠隔診療)	成果実績	-				
		達成度	-				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	遠隔医療従事者研修受講者数	活動実績(当初見込み)	人				
単位当たりコスト			算出根拠				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	医療関係者研修費等補助金	-	7	-			
	計	-	7				

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	第3回日本経済再生本部(平成25年7月25日)の、「第1回産業競争力会議の議論を踏まえた当面の政策対応について」(総理指示)の中の項目に、「遠隔医療の実現」が挙げられ、更なる遠隔医療の普及・推進に向けた事業であり、ニーズは高い。全国的に遠隔医療の推進に貢献し得る人材を育成するためには、国費を投入すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	全国的に遠隔医療の推進に貢献し得る人材を育成するためには、国が主導して行うべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		△	重要度・優先度は高いものの、達成度を明確に定量的に計測することは困難である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	単位当たりコストの水準は妥当か。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)					
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	-	-			
点検結果	新規事業として、平成26年度概算要求					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-	遠隔医療従事者研修については、遠隔医療の機能や運用するためのポイントなどについての研修を実施し、知識と理解を深めることで普及・促進を図るための事業であり、必要性の観点から優先度の高い事業である。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
7百万円

【遠隔医療を行うための機器の導入の検討をしている医師等の病院関係者や、実際に遠隔医療、遠隔診療を行っている医師等を対象に、遠隔医療の目的、機能や運用していくためのポイントなどについて、情報通信システムを活用した研修を行う経費】



【公募】

今後企画競争予定

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					